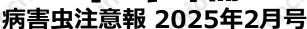


# ネギ編





※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

#### 育苗期~定植前おすすめ防除

#### 黒腐菌核病対策に

### バスアミド。

·対象病害虫等:黒腐菌核病,白絹病, ネコブセンチュウ,ネギルモグリバエ,一年生雑草 等

·使用量: 20~60kg/10a

・使用時期:は種又は定植14日前まで

使用量は対象病害虫によって異なります。 ラベルを確認の上ご使用してください。



## 土壌消毒のポイント

- ①砕土を丁寧に行う
- ・・・・固まっている土の内部は 消毒されません!
- ②被覆を必ず行う
- ・・・被覆を行わないと薬剤が 抜けやすくなり、 表層しか消毒できません!

#### おすすめ定植前~定植当日処理剤

#### ベストガード粒剤

- ・ネキ、アサ、ミウマ
- ·50a/セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット1冊
- ·育苗期後半~定植当日/1回

ミネクトデュオ粒剤

アサ゛ミウマ類,ハモク゛リハ゛I類

·40g/セル型育苗トレイ1箱

またはペーパーポット1冊

**シロイチモシ**・ヨトウ 等

·育苗期後半/1回



#### 兼商ヨーバルフロアブル

- ・アザミウマ類、ハモグリバエ類
- ・200倍 灌注処理
- ·育苗期後半~定植当日/1回



#### **注意**

ミネクトデュオ粒剤を使用した場合、 下記の薬剤は苗場での使用ができません!!

- ・ベリマークSC
- ・プリロッソ粒剤オメガ
- ・ベネビアOD
- ・アベイル粒剤
- ・アクタラ粒剤5
- ・ジュリボフロアブル
- ・アクタラ顆粒水溶剤

#### 軟腐病

病原菌: Pectobacterium carotovorum (細菌)

- ・収穫期に近づいた成株に発生が多い。
- ・葉身の展開部に水浸状の病斑を生じ、 茎盤基部が褐変し、地上部は生育不良になる。
- ・腐敗部はいずれも特有の腐敗臭を発する。
- ・土壌伝染性で、土寄せ・強風などによる葉擦れに よって出来た傷から病原菌が侵入する。



参考画像: 玉ねぎ軟腐病

#### 軟腐病対策に!

## オリゼメート粒剤

- ▶ 植物の病害抵抗性を誘導
- ▶ 持続性に優れた効果

6kg/10a 

(但し、収穫30日前まで) 2回/株元散布

